

第 125 回・日商簿記検定試験 2 級 第 1 問 仕訳問題類題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	売掛金	買掛金
仕入	売上	受取手形	支払手形
資本金	繰越利益剰余金	未収金	未払金
社債償還益	社債償還損	仕入割引	売上割引
支払利息	受取利息	備品	備品減価償却累計額
減価償却費	委託販売	受託販売	支払手数料
受取手数料	貸倒引当金	前払利息	未払利息
前受利息	未収利息	役員賞与引当金	役員賞与引当金繰入
未払役員賞与	社債	社債利息	売買目的有価証券
有価証券利息	繰越商品	積送品	有価証券売却益
有価証券売却損	有価証券評価益	有価証券評価損	

1. 決算日において、当年度に属する役員賞与 500,000 円を見積り計上する。なお、当社は、株主総会において役員賞与の支給に関する議案の承認を受けることとしている。
2. 売買目的で所有していた T 社社債（額面 5,000,000 円、取得原価 5,020,000 円、取得日：平成 18 年 4 月 1 日、満期日：平成 23 年 3 月 31 日、年利率：7.3%、利払日：3 月 31 日および 9 月 30 日）の半分を平成 20 年 10 月 20 日に @102 円で売却した。売却代金は、端数利息を含め、当座預金に振り込まれた。なお、前年度の決算日（平成 20 年 3 月 31 日）において T 社社債の時価は @101 円であった。当社は、売買目的有価証券の会計処理方法として、時価法（切り放し法）を採用している。
3. 決算日において、すでに掛代金の支払いとして処理されていた小切手 200,000 円が未渡しであることが判明した。
4. 備品 20 台（@100,000 円）を購入し、割戻額 150,000 円を控除した残額を小切手を振り出して支払った。
5. かねて販売と代金回収の委託を受けていた商品 30 個（売価：@50,000 円）のうち、本日 18 個を販売し、代金は掛けとした。なお、当社は、販売価額の 10% を販売手数料として受け取ることとなり、販売のつど収益を計上する。